

SDGs 達成に向けた宣言書

宣言日 令和7年11月18日

事業者名 株式会社九州健好プラス



私たちは、SDGsの内容を理解し、SDGsの達成に向けた取組方針及び重点的な取組を以下のとおり宣言します。

◆ SDGs 達成に向けた取組方針・パートナーシップ

【取組方針】

わが社の経営理念にもある「地球環境の保全と持続可能な未来の創造」は、SDGsの達成と目的を同じくするものであり、社員一同それぞれの役割を果たし、且つ協力し合うことにより、SDGsの達成に貢献していきます。

◆ SDGs 達成に向けた重点的な取組 (1つ以上の任意の分類を選択し、1項目以上記載)

分類	SDGs 達成に向けた 重点的な取組
環境・ワンヘルス	代表取締役を責任者とするSDGs推進体制を構築し、プロジェクト開発チームが、土地選定、系統検討、環境配慮、地域との協働などを含む実務的なSDGs推進業務を担当する。 年1回、SDGsの進捗状況（蓄電所導入容量、CO ₂ 削減貢献量等）を内部でレビューし、必要に応じて施策を見直す。

分類（1：組織体制・法令、2：地域、3：人権・平等・労働、4：産業・技術、5：環境・ワンヘルス）



SDGs達成に向けた取組シート

・各分類において1つ以上の「具体的な取組」をご記載ください。(※)
 ※「具体的な取組」は、「実施中のもの」または「今後1年以内に取り組み予定のもの」を記載してください。
 ★政令市SDGs登録証による記載省略可能な分類においても、できる限り具体的な取組を記載してください。

申請年月

事業者名

No	分類	項目タイトル	項目	対応する 主なSDGs	申請時点 の実施状況	政令市のSDGs 登録制度 への登録状況		具体的な取組 (国、県、市町村の登録制度や認定制度があればその情報も御記載ください)	実施経過(登録1年後に記載) 実施中の取組内容 (未実施の場合は今後の方針)
						北九州市	福岡市		
						未登録	未登録		
1	組織体制・法令	1-1 経営理念の共有	・経営理念及び経営目標を社内などで共有している。	8	16	17		【1-2】 ・電気事業法、消防法、労働安全衛生法など関係法令を遵守し、適切な管理体制を整備。 ・取引開始前に反社審査の実施 ・取引先情報や従業員の個人情報を含む情報のパスワード管理 ・エネルギーマネジメントに関する研修を実施し、専門性の向上と人材育成を推進。	
		1-2 法令遵守・個人情報保護	・反社会的勢力の排除、不適正競争行為の防止など、法令遵守に取り組んでいる。 ・個人情報を適切に管理している。	4	10	16	実施中		
		1-3 事業継続計画(BCP)	・過去の地震や水害などの災害を教訓として、事業を継続するため、重要業務を目標復旧時間までに回復させるよう事業継続計画(BCP)を策定している。	11	13				
		1-4 飲酒運転の撲滅	・従業員が業務上、車両を運行する際はアルコールチェックを行うなど、飲酒運転防止策をとっている。	3	4	12			
		1-5 事業の承継	・後継者の育成など、事業承継に関する検討・対策を行っている。	4	8	11			
2	地域	2-1 UJJターンの推進と若者の県内への定着	・県外在住の求職者への説明会を開催する、インターンシップを行う、WEBなどを活用した若者向けの情報発信や説明会を開催するなど、UJJターンの推進や若者の県内への定着に積極的に取り組んでいる。	4	8	10		【2-2】 ・災害等による停電時、非常電源として活用できる体制を構築し、自治体・企業との連携可能性を検討する。 ・地域の防災計画への参画や、エネルギーレジリエンス向上に資する情報提供を行う。 ・蓄電設備における火災・感電リスク対策として、定期点検・緊急時対応マニュアルの整備を実施。	
		2-2 地域防災への貢献・共助社会づくり	・水防団や消防団の活動に参加する、救命講習などの講座を受講する、防災士などの必要な技能を持つ社員を育成するなど、地域防災の担い手としての認識を持ち、活動している。 ・寄付、ボランティア、地域の福祉活動・防犯活動・伝統や文化の継承など、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	4	11	13	実施中		
		2-3 世界遺産等の保護・保全や国際協力・貢献	・人類共通の財産である世界遺産(文化遺産・自然遺産)・無形文化遺産・世界の記憶(世界記憶遺産)などの保護・保全に協力している。 ・『世界遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群を守り伝える活動団体認定制度』に登録している。 ・国際機関や団体に対し、技術提供や寄付などの国際協力・貢献に取り組んでいる。 ・「国連ハビタット福岡本部協力委員会」に加入し、財政的に支援している。	10	11	14			
		2-4 SDGsの普及啓発	・持続可能な社会の実現に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供に取り組んでいる。	4	13	17			



SDGs達成に向けた取組シート

・各分類において1つ以上の「具体的な取組」をご記載ください。(※)
 ※「具体的な取組」は、「実施中のもの」または「今後1年以内に取り組み予定のもの」を記載してください。
 ★政令市SDGs登録証による記載省略可能な分類においても、できる限り具体的な取組を記載してください。

申請年月

事業者名

No	分類	項目タイトル	項目	対応する 主なSDGs	申請時点 の実施状況	政令市のSDGs 登録制度 への登録状況		具体的な取組 (国、県、市町村の登録制度や認定制度があればその情報も御記載ください)	実施経過(登録1年後に記載) 実施中の取組内容 (未実施の場合は今後の方針)
						北九州市	福岡市		
						未登録	未登録		
3	人権・平等・労働	3-1 ダイバーシティ経営とジェンダー平等	・女性、外国人、高齢者、障がいのある人、性的少数者など、多様な人材が能力を發揮できる職場環境を整えている。	5 8 10				【3-3】 ・業務効率化へ向けた提案や検討が出来る社内での仕組みづくり ・有給休暇取得率の目標値の設定と、休暇を取得しやすい人員体制の整備 ・費用補助による健康診断受診促進 ・従業員及び家族の健康維持向上の呼び掛け	
		3-2 差別等の禁止・人権教育の推進	・採用や人事評価、職場において性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別をしていない。また、あらゆるハラスメント行為の防止に取り組んでいる。 ・人権問題に関する学習機会を提供するなど、人権尊重の精神の育成に取り組んでいる。	4 5 8 10					
		3-3 労働安全衛生・長時間労働の抑制・健康づくり	・業務中の事故などを防ぐため、労働安全衛生に関する講習を実施するなど、安全で衛生的な労働環境づくりに取り組んでいる。 ・36協定で締結した限度時間を遵守するなど、適切な労働時間管理を行うとともに、ノー残業デーの実施や年次有給休暇取得促進など働き方の見直しに取り組んでいる。 ・従業員の心身の健康の保持・増進に取り組んでいる。	3 8 9 10	実施中				
		3-4 人材の育成	・全ての従業員などにスキルアップのための研修や教育の機会を提供している。	4 8					
		3-5 多様な働き方の推進・障がいの特性に応じた就労の推進・女性の活躍の推進	・テレワークの実施やサテライトオフィスを設置するなど、多様な働き方を導入している。 ・障がいのある人が個性や能力を發揮して働ける環境を整え、積極的に雇用している。 ・女性の管理職登用や、積極的な採用を行っている。	1 5 8 10					
		3-6 仕事と子育て・介護の両立	・結婚・出産後も働きやすい職場環境づくりや、従業員が仕事と子育てを両立できるような取組を行っている。 ・従業員が仕事と介護を両立できるような取組を行っている。	5 8 10					
		3-7 キャリア教育の推進	・職場体験への協力など、地域の子どもや学生などのキャリア教育に協力している。	1 4 11					



■SDGs達成に向けた取組シート

・各分類において1つ以上の「具体的な取組」をご記載ください。(※)
 ※「具体的な取組」は、「実施中のもの」または「今後1年以内に取り組む予定のもの」を記載してください。
 ★政令市SDGs登録証による記載省略可能な分類においても、できる限り具体的な取組を記載してください。

申請年月 2025年11月

事業者名 株式会社九州健好プラス

No	分類	項目タイトル	項目	対応する 主なSDGs	申請時点 の実施状況	政令市のSDGs 登録制度 への登録状況		具体的な取組 (国、県、市町村の登録制度や認定制度があればその情報も御記載ください)	実施経過(登録1年後に記載) 実施中の取組内容 (未実施の場合は今後の方針)
						北九州市 未登録	福岡市 未登録		
4	産業・技術	4-1 商品・サービスの安全性の確保	・商品・サービス使用時に想定されるリスクと対策の整理や、商品を安全に使用するための取扱説明書の作成など、商品・サービスの安全性を担保する体制を整備している。	9 11 12	実施中			【4-3】 ・アグリゲータ企業や電力会社との連携により、需給調整市場等での収益確保を図り、持続可能な事業モデルを構築。 ・最新の蓄電池管理システム(BMS/EMS)の活用により、高度な電力需給管理技術の導入を推進。 ・データ解析を基に効率最適化を行い、国内の電力安定供給基盤づくりに寄与。	
		4-2 ユニバーサルデザインの導入と社会課題の解決	・ユニバーサルデザインの考え方に基づく商品・サービスや、社会課題の解決につながる商品・サービスの提供に取り組んでいる。	9 10 17					
		4-3 新たな技術・商品の開発	・品質向上や新たな技術・商品・サービスの開発に取り組んでいる。	9 11 12					
		4-4 地域資源・特性の活用	・地域(県産)の原材料や資源の積極的な活用や、地域の特性を生かした商品・サービスの開発に取り組んでいる。	11 14 15					
		4-5 DXの推進	・デジタル化による生産性の向上などに取り組んでいる。	4 8 9					
		4-6 多言語対応	・ホームページや店舗などで多言語表記(英語表記のみ含む)に対応している。	1 4 10					



SDGs達成に向けた取組シート

・各分類において1つ以上の「具体的な取組」をご記載ください。(※)
 ※「具体的な取組」は、「実施中のもの」または「今後1年以内に取り組み予定のもの」を記載してください。
 ★政令市SDGs登録証による記載省略可能な分類においても、できる限り具体的な取組を記載してください。

申請年月 2025年11月

事業者名 株式会社九州健好プラス

No	分類	項目タイトル	項目	対応する 主なSDGs	申請時点 の実施状況	政令市のSDGs 登録制度 への登録状況		具体的な取組 (国、県、市町村の登録制度や認定制度があればその情報も御記 載ください)	実施経過(登録1年後に記載) 実施中の取組内容 (未実施の場合は今後の方針)
						北九州市	福岡市		
						未登録	未登録		
5	環境・ ワンヘル ス	5-1 廃棄物の削減・リサイクルの推進、廃棄物の適正処理	・事業活動から生じる廃棄物の削減やリサイクルの推進、または「県産リサイクル応援事業所」の登録を行っている。かつ、廃棄物の適正処理を徹底している。					<p>【5-8】 当社は、系統用蓄電所(グリッド向け蓄電システム)の開発を通じて、持続可能なエネルギー供給体制の構築に寄与しています。 再生可能エネルギーの導入拡大に伴い、出力変動への対応や電力システムの安定化は社会的課題となっております。当社は、蓄電技術を活用し、これらの課題解決に貢献することを使命として取り組んでおります。</p> <p>特に、SDGsの以下の目標を重点領域として位置づけ、事業活動を推進しております。</p> <p>目標7「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」</p> <p>当社が開発する系統用蓄電所は、再生可能エネルギーの出力変動を吸収し、電力の安定供給を支える役割を果たしています。これにより、再エネの更なる普及を促進するとともに、CO₂排出削減に寄与し、脱炭素社会の実現に貢献しております。</p> <p>今後も、地域社会および電力インフラの安定化に資する事業を推進し、持続可能な社会の実現に向けて積極的に取り組んでまいります。</p> <p>① 今後の目標(数値目標を含む) 当社は、系統用蓄電所の開発を通じて地域の再生可能エネルギー導入拡大に貢献するため、以下の数値目標を設定する。 2030年までに、合計100MWh規模の系統用蓄電所の開発に関与することを目指す。 再エネ出力変動の吸収・調整により、年間1,000トン以上のCO₂削減効果に相当する貢献を実現することを目標とする。 電力システムの安定化に寄与する技術・運用手法について継続的に改善を図り、毎年1件以上の新規プロジェクトまたは技術改善を実施する。 これらの目標達成を通じて、地域社会の脱炭素化と持続可能なエネルギー供給体制の構築に寄与していく。</p> <p>② SDGs達成に向けた体制・取り組み(組織体制など) 当社では、SDGsの理念を事業運営の中心に据えるため、以下の体制を整えている。 代表取締役を責任者とするSDGs推進体制を構築し、事業戦略とSDGs目標の整合性を定期的に確認する。 プロジェクト開発チームが、土地選定、系統検討、環境配慮、地域との協働などを含む実務的なSDGs推進業務を担当する。 年1回、SDGsの進捗状況(蓄電所導入容量、CO₂削減貢献量、地域連携の状況等)を内部でレビューし、必要に応じて施策を見直す。 地域の自治体・電力会社・再エネ事業者との協働を重視し、地域エネルギーインフラ強化への貢献を継続する体制を保持する。 当社は、これらの体制のもと、持続可能な社会の実現に向けて主体的に取り組んでいく。</p>	
		5-2 脱炭素化の推進	・節電や省エネ効果の高い機器の利用などの省エネ活動や、公共交通の積極的な利用、社用車への電動車の導入など、脱炭素化に取り組んでいる。						
		5-3 感染症対策の推進	・新型コロナウイルスをはじめとした感染症対策など、衛生対策を徹底している。						
		5-4 プラスチックごみ・食品ロスの削減	・プラスチックごみの削減に取り組んでいる。 ・製造・流通、外食・販売過程において発生する食品ロスの削減に取り組んでいる。	 					
		5-5 農林水産物の地産地消の推進	・県産の農林水産物を使用し、地産地消に取り組んでいる。						
		5-6 生物多様性・緑化の推進	・健全な森林環境や河川環境を維持するための活動など、生物多様性の保全に取り組んだり、地域が実施する環境保全活動への協力・支援を行っている。 ・壁面緑化や植栽など、社屋や地域の緑化に取り組んでいる。	 					
		5-7 環境に配慮した調達・商品・サービス開発	・環境負荷に配慮した原材料の調達や、環境に配慮した商品・サービスの開発に取り組んでいる。						
		5-8 再生可能エネルギーの利用	・太陽光パネルの設置や再生可能エネルギー由来の電力の調達など、再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		実施中				